

元気で躍進 地域経済

創業65年で松工へ寄贈

三重いすゞ自動車 エンジンなど教材に活用して

三重いすゞ自動車(株)社長が11日、創業65周年(本社津市、川村則之一年を記念して松阪市殿町



見守る生徒とエンジンの前で、目録を手渡す川村社長(真ん中右)と谷口校長



荷台を外して寄贈された小型トラック=いずれも殿町の松阪工業高校で

の県立松阪工業高校(谷口雅美校長、712人)の自動車科(坂口功科長、120人)に、教材用の最新しいディーゼルエンジン1基(80万円相当)と、中古の小型トラック「エルフ」1台(200万円相当)を寄贈した。午前11時半から同科実習工場で贈呈式があり、川村社長から谷口校長に贈呈目録が手渡された。

同社はこれまで、同校の要請を受け教材として使う中古エンジンなどを提供してきたが、今回のように展示用の車台に載せてわざわざ造った物を寄贈するのは初めて。同社が「いすゞ自動車(株)本社(東京都)に相談し、いすゞ自動車本社から提供を受けた。トラックは三重いすゞ自動車が用意した。

三重いすゞ自動車の弘中優一常務取締役サビス部品部長は「毎年のようにいい生徒さんを採用させていたたいるので、65周年を記念して何かお礼をしたいと考えた」といきさつを話す。

坂口科長によると、寄贈されたエンジンはディーゼル機の外観の特徴や一つ一つの部品について学習するのに使い、トラックの方はタイヤを外してブレーキの構造を学んだり、車体の下回りの点検を練習するのに使うという。

贈呈式には3年生40人も参加。川村社長が「皆

6月のユビテル・静岡

松阪市大口町に本社を置く三重化学工業(山川大輔社長)は11日、豊原町のプロゴルフ・鈴木麻綾さん(22)に、自社製品の三日月形冷却剤「くるっとクール」(3個)と、板状冷却剤「アイシングフィット」(4種各1個)を寄贈した。鈴木選手が12歳の時から練習場としてきた下村町のコスモティックゴルフで午前11時45分から贈呈式があった。

山川社長が鈴木選手の首にくるっとクールを巻くと、鈴木選手は「ひんやりとして熱中症にもとてもいい」。さらに山川社長は「ゴルフでは肘が痛むと聞くので」と、肘の前後に巻くタイプなど4種類のアイシングフィットもプレゼント。鈴木選手は「夏場のツアーでは午後から体がすごく重たくなってくるので、いつもは水のおうを使っているけど、体の形に合うように当てられないので、このアイシングフィットはとてもいいなと思う」と話していた。

新聞SBSレディースで優勝した鈴木選手が8月に竹上真人市長を表敬訪問した際、市長が市の中小企業ハンズオン支援事業の販路開拓支援の一環でくるっとクールを紹介したところ、鈴木選手が「ぜひ使ってみたい」と答えたことから、今回の寄贈に至った。この日は中津平一・市産業支援センター長が司会した。

★(株)13万

★(株)15万

鈴木プロに冷却剤寄贈 市ハンズオン事業きっかけ



くるっとクールなどを付けた鈴木選手(左)と、指用のアイシングフィットを指にはめる山川社長=下村町のコスモティックゴルフで

さんがよく利用されるコンビニの商品は全てトラックで輸送されている。生徒の皆さんがトラックの仕組み、また大型車がどのような物か興味を持っていただければ」などとあいさつ。谷口校長は「予算が限られた中、寄贈はありがたい」と感謝し、生徒を代表して廣瀬光結君が「有効に活用して、自動車整備の知識と技能を向上させていきたい」と謝辞を述べた。

★(株)14万